

スピリチュアル物語

69話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

トランスマリOTT内スターボックス(要予約):1時間 \$60

メール相談:(要予約):majyotomoe@gmail.com \$16/1件(Paypal・Zelle)



「バウンダリーに関しての理解と受容？」ウィザットがまたマグワートの言葉を繰り返す。「それは境界線のことでしょうか」マジヨリアルが言葉を挟む。「そうじゃ。バウンダリーとは、人間関係に於ける自分と他者との間の適切な境界線のことじゃ」マグワートは自分と2人との間に右手で線を引くようなしぐさをしながら答え、更に続けた。「それには、パーソナルスペースというお互いの身体的な距離感としてのバウンダリーと、自分と他者との優先順位の場合に於ける心理的なバウンダリーがあり、目には見えないけれど、リ

レーションシップに於いての重要な境界線となるものじゃ。それが曖昧であればある程、人間関係はストレスに満ちたものとなり、健全な関係性からは遠いものとなる可能性が高いんじゃない。人は自分というテリトリーを確保して初めて、他者との良好な関係性を構築することが出来る。バウンダリーというのは自分のテリトリーを守る、という健全な意識なんじゃよ」「身体の距離と心の距離？」マジヨリアルが呟く。「知らない人が自分の隣10cmのところいきなり来たら不快に思うじゃろ。でも恋人ならOK。相手との関係性に比例する

身体的距離としてのテリトリー感覚じゃ。でもこれは人により微妙に違って、年齢により変化するらしい。性別や人種によっても違いはあるじゃろ。内向的な人と外交的な人でも違いはあるそうじゃ。これは目には見えないとは言え、まだ解り易い。解り難いのは心の距離の取り方じゃ。それに関してはまた次回話すとしてよ」



★これまでのお話(1~68話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com 9月28日号につづく!